

第3学年 国語科学習指導案

指導者 井上 郷子

1 単元名 民話や昔話をしょうかいしよう ～いちおしのおはなし おしえます～

(学習材名 「三年とうげ」 光村図書3年)

2 単元構想表

児童の言語活動の既習経験と実態 (文学的な文章の解釈に関する指導事項)		
既習の学習材名	知識・技能の習得状況	言語活動
きつつきの商売	場面の様子や登場人物について、叙述をもとに想像を広げ、大事な言葉に着目しながら音読に表し、理解した。(ウ)	発表会をして様子が分かるような音読の工夫について交流すること 「音読発表会をしよう」
もうすぐ雨に	文章を読んで感じたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くことができた。(オ)	「おもしろいな。」「すきだな。」というところを、なぜ「おもしろいな」「すきだな。」と思ったのかということとともに見つけ、感想を発表し合い交流すること 「ここが楽しかったよ発表会」をしよう
ちいちゃんのかげおくり	場面の移り変わりに注意しながら読み、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して読むことができた。(ウ)	感じたことや考えたことの根拠を明らかにしながら、構成を踏まえて感想文を書き、交流すること 「感想発表会」をしよう
<p>児童は、文章を読んで感じたことを発表する活動を通して、お互いの感じ方には違いがあることに気付き、それぞれの違いをよしとすることを学んできた。自分の思いを表現することに苦手意識を持っている児童が多い。そこで、語彙集や発話例を活用させながら表現していく必要がある。また、お互いの感想や感じ方についての違いを見つけるには、比べる観点を選ぶことが大切であることを身につけさせたい。</p>		
単元を通して身に付けたい力		評価規準
<p>領域：C読むこと</p> <p>◎文章を読んで感じたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。(オ)</p> <p>○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むこと。(ウ)</p> <p>・場面の移り変わりに注意しながら想像して読み、文章を読んで感じたことを発表し合い、一人一人の感じ方の違いを見つける力。</p>		<p>◎民話や昔話を読んで感想を比べて交流し合い、感じ方の違いに気付いている。(オ)</p> <p>○民話や昔話のおもしろさを紹介するために、場面の移り変わりや登場人物の気持ちを想像しながら読んでいる。(ウ)</p>
学習材の特徴		
中心学習材名「三年とうげ」(光村図書3年下)	補助学習材名	
<p>「転ぶと三年で死ぬ」という言い伝えがある峠で転んでしまい、震えるおじいさんに、言い伝えを逆手にとって解決するトルトリの機転を描いた民話である。起承転結がはっきりとしており、話の筋がとらえやすい構成となっている。民話や昔話のもつ語り口のおもしろさを味わい感想を交流する中で、一人一人の感じ方について違いのあることに気づき、さまざまな民話に親しむ糸口となる学習材である。</p>	<p>「世界のむかしばなし」 「日本のむかしばなし」 「ほしになったりゅうのきば」等</p>	
単元を貫く言語活動の設定要素と具体的能力		
<p>単元名 民話や昔話をしょうかいしよう ～いちおしのおはなし おしえます～</p> <p>言語活動：「三年とうげ」で「おもしろいな。」と思った事柄について、根拠を明確にした感想をもち、読み深める。さらに、その手法を使って他の民話や昔話を紹介し交流する活動</p> <p>特徴： 民話や昔話の持つ話の筋のおもしろさ、場面の移り変わり、登場人物の気持ちなど、さまざまな観点の中から感想をもつ。さらに、この単元を通して身につけた読み方を使って、他の民話や昔話の楽しさを紹介することができる。</p> <p>相手：学級の友だち</p> <p>目的：民話の紹介をするために、自分の感想と友だちの感想とを比べて、感じ方の違いについて交流する。</p> <p>思い：民話や昔話の中から一つを選び、「おもしろい」と思ったことを手掛かりにして感想をもち、みんなの前で紹介したい。</p> <p>能力：叙述をもとに、おもしろさに気づき、根拠を明らかにしながら記述する力 友だちの感想の良さに気付く力</p>		
思考力育成の手立て		
<p>《考えをもたせるための工夫》</p> <p>課題解決の見通しをもたせる (考えるための観点の提示)</p> <p>「おもしろい」と思った理由 話の筋 場面の移り変わり 登場人物の気持ちなど</p> <p>考える技能を活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>比較～様子の変化に着目し場面比較することで出来事が大きく変化することをとらえる。</li> </ul>	<p>《考えを表現させるための工夫》</p> <p>語彙集を活用させる 思いを言語で表すために適切な言語を選ぶことができるようにする。</p> <p>考えるためのかく活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの工夫 登場人物の変化をとらえやすくするために、見開き2ページを4つに分け登場人物の心情を書くようにする。</li> <li>・ワークシートの工夫 おもしろいと思ったところを友だちと交流し、ふりかえりをまとめるようにする。</li> </ul> <p>発話例を活用させる 友だちと自分の感想を話し合い、発話例を活用しペアで交流する。</p>	<p>《学びの価値づけ》</p> <p>評価(ふりかえり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位時間の学習が単元のゴールに活かせることを実感できるように学びの価値づけをする。</li> </ul>

学習過程	学習活動	評価
第一 次 見 通 す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「三年とうげ」を読み、学習計画を立てよう。</div> ○民話や昔話を紹介する活動に関心をもつとともに、「三年とうげ」の学習計画を確認する。 ・「いちおしのおはなし」を紹介するカードの完成モデルを見て、具体的なゴールをイメージする。 ・「三年とうげ」の学習を進めながら、並行読書で「いちおしのおはなし」を見つける意欲をもつ。 <b>★紹介カードの具体物を見せることにより、具体的なゴールをイメージをもたせる。（考えをもたせるための工夫・動機付けの工夫）</b> <b>★学習計画を立て、「いちおしのおはなし」を紹介するという見通しをもち、学習意識を高める。（考えをもたせるための工夫・課題解決の見通しをもたせる）</b>	・いろいろな国の民話や昔話があることを知り進んで学習に取り組もうとしている。【関】 発言・観察 ・興味をもって読み聞かせを聞いている。【関】 発言
第二 次	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「三年とうげ」の内容を確かめよう。</div> ○全文通読し、登場人物を確かめる。 ○挿絵をもとに、話の展開をとらえ、話し合う。 ・場面ごとのあらすじをとらえ、ノートにまとめる。 ○三年とうげの様子をとらえる。 ・三年とうげが美しいところである一方で、とても恐ろしい言い伝えがあるということ把握する。 <b>★物語の構成を理解し、挿絵をもとに展開をとらえる。（考えをもたせるための工夫・考えるためのかく活動）</b>	・挿絵を手がかりにして、話の展開をとらえている。【読ウ】 ノート
深 め る ・ ま と め る	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「三年とうげ」の話が大きく動くところを確かめよう。</div> ○物語が大きく変化する場面をとらえる。 ・変化したきっかけを見つける。 ・変化の前後で様子がどのように変わったか確かめる。 <b>★場面を比較し、大きく変化したのはなぜか、考えさせる。（考えをもたせるための工夫・考える技能の活用・比較）</b>	・出来事の展開に注目して、場面の移り変わりをとらえている。【読ウ】 発言・ワークシート
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">様子や気持ちを表す言葉から登場人物について考えながら読もう。</div> ○おじいさんの様子が分かる表現をもとに、気持ちの変化について考える。 ・おじいさんが三年とうげでわざと転ぶ前と後とでは、どのような気持ちの変化があったか、言葉や文に沿って読み取る。 ○トルトリの人柄について話し合う。 ・おじいさんに変化をもたらしたトルトリの一言を取り上げ、話し合う。 ○おじいさんの変容について、感想を書き留める。 <b>★おじいさんの気持ちの変化がトルトリの一言に起因していることをワークシートでとらえさせる。（考えを表現させるための工夫・考えるためのかく活動）</b>	・文章中で使われている言葉に着目し、登場人物の心情の変化をとらえている。【読ウ】 発言・ワークシート

<p>第二次 深める・まとめる</p>	<p>5 本時</p>	<p>「三年とうげ」のおもしろかったところを書いて、伝え合おう。</p> <p>○「三年とうげ」を読んで、おもしろかったところ、心に残る言葉や文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜそう思ったのか、根拠となる言葉や文についてもふれる。</li> <li>・今まで書きためた感想も使ってまとめる。</li> </ul> <p>○友だちの感想を聞き合って、感じたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えと比べながらお互いの感想をペアで聞き合う。</li> <li>・よく書けていると思った感想を全体に紹介し、交流する。</li> </ul> <p>○感想の内容や、よりどころとする箇所に違いがあることに気づく。</p> <p><b>★おもしろいと感じたところを、根拠も明らかにしながらペアで交流させることにより、感じ方の違いに気づかせる。</b></p> <p><b>(考えを表現させるための工夫・発話例を活用させる)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の感想をまとめ、交流を通して、感想の違いに気づいている。【読オ】 発言・ワークシート</li> </ul>
<p>第三次 ひろげる</p>	<p>6</p>	<p>いろいろな国の民話や昔話のおもしろさを紹介する文を書こう。</p> <p>○紹介する形式に沿って、紹介文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・並行読書で読んできた本や今まで読んだことのある本を紹介する。</li> <li>・前時までの学習を生かして、あらすじや場面の移り変わりに着目して紹介することを決める。</li> <li>・あらすじや内容は、短くまとめ、感想に主眼を置く。</li> </ul> <p>○書いたものを読み返して、おもしろさが伝わる文章になっているか、確かめる。</p> <p><b>★「三年とうげ」の読み取りをもとに、語彙集や発話例を参考にしながら、おもしろさを伝えるための言葉を工夫して書かせる。</b></p> <p><b>(考えを表現させるための工夫・ワークシートの工夫)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「三年とうげ」での読み方を生かして、自分の選んだ民話や昔話を読んでいる。【読ウ】 発言・観察</li> <li>・物語の内容とおもしろさが伝わるように、紹介の内容をまとめている。【読ウ】 発言・ワークシート</li> </ul>
	<p>7</p>	<p>自分がえらんだ民話や昔話を紹介し合おう。</p> <p>○前時の学習でまとめた話の内容と感想を発表し合い、友だちの発表について考えたことや感想を書く。</p> <p><b>★発表を聞き合う際に、これまでの学習でつけてきた力を活かすことができたか自己評価させる。</b></p> <p><b>(学びの価値づけ)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民話や昔話の内容を、人物や出来事、場面の移り変わりなどをとらえて適切にまとめ、紹介している。【読オ】 発言</li> <li>・お気に入りの作品のおもしろさを友だちに紹介することで、お話の楽しみ方の違いに気づいている。【読オ】 発言・ワークシート</li> </ul>

※民話や昔話を並行読書に位置づけ、読書を進める。

#### 4 本時の指導（5／7時間）

##### （1）目 標

おもしろいところをもとに感想を発表し合って、一人一人の感じ方の違いについて気づく。

##### （2）展 開

段階	学習活動	形態	学習内容	評価
導入 5分	1 前時の学習を想起する。  2 課題を確認する。 「三年とうげ」のおもしろかったところを書いて、伝え合おう。	全	○前時までに学習したおじいさんの気持ちの変化を想起する。 ○友だちと自分の同じところ、ちがうところを比べながら、「おもしろいところ」と「その理由」について発表を聞き合うことを確かめる。	・本時の課題をつかんでいる。
展開 30分	3 おもしろいところを書く。  4 発表を聞き合う。 ペアに分かれて、「おもしろかったところ」と「その理由」について交流する。 ・発表を聞いて、友だちの感想について考える。  5 心に残った感想を比べ、全体の場で発表し合う。 ・板書で、紹介された感想を全体に示したものから、気づいたことを発表する。 ・一人一人の観点（場面、気持ちの移り変わり等）や感想が違うことをつかむ。	個  ペア  全	○根拠を明確にしなが、おもしろいと思ったところを書く。 ・語彙集を参考にしながら、書く。  ○相手が選んだところや理由について、自分の考えや思いとの違いに気づいて聞き合う。 ・① 相手の感想 ② ①に対する自分の考えや思いという二文構成で行う。 ・掲示した発話例などを使い、相手に伝わりやすい紹介を目指す。 ・ペアを換えて交流しながら、個々の感想の違いについて考える。  ○誰のどんなところが心に残ったか、紹介する。 ・□□さんが、おそろしい言い伝えの歌が後の場面では長生きの歌に変わっていたのがおもしろいと言っていました。ぼくは誰が歌ったのか、気になりました。 ・〇〇さんが、病気になって弱っていたおじいさんがトルトリの言うとおりに気持ちが変わってすっかり元気になっていたのがおもしろかったと言っていました。わたしもトルトリの言葉でおじいさんの気持ちが変わったと思いました。	・おもしろいと思ったところを書くにあたって、どこを根拠にしたかについても書いている。  ＜評価＞ 感想を聞き比べ、自分の感想と他の児童の感想に違いがあることに気づいている。 【発言・ワークシート】
終末 10分	6 本時を振り返る。 ・気づいたことをシートの振り返りの箇所に書く。 ・振り返ったことを交流する。  7 次時の学習を確認する。 いろいろな国の民話や昔話のおもしろさを紹介する文を書こう。	個  全	○以下の視点で振り返る。 ・友だちの感想に対して意見をもつことができたか。 ・観点の取り上げ方は、どうだったか。	・本字の学習について振り返り、交流することができている。